

【単身版】引越しやることリスト

時期	チェック	やること	補足
1ヶ月前		粗大ごみの処分	都内だと回収までに1ヶ月くらいかかります。
		不用品の処分	このタイミングは部屋の見えるところにある不用品です。
		会社への通知	必ず行きますので、早めに通知しましょう。業務調整もしやすくなります。
2週間前		すぐ使わないものの梱包	すぐ使わないものの梱包。色違いのマーカー、梱包のカテゴリ分けをしておくとうれしが楽になります。
		服の処分	3年着ていなければ、メルカリで売るか処分しましょう。
		本の処分	書籍として保管しておきたい本以外は、電子書籍化したりメルカリなどで売って、処分しましょう。
		家電製品の処分	ゴミとして出せるものとそうでないものがありますので、各自自治体のHPで確認しましょう。
		電気・ガス・水道の移転手続	各サービスセンターへ連絡しましょう。
		サブスク（宅配系）の住所変更	食材宅配など宅配系の住所変更をしましょう。
		インターネットの移転・解約	インターネットを移転するのか？新規で契約するのか？判断し手続をしましょう。
1週間前		郵便の転居・転送申請	転送期間は届け出から1年間。個人情報保護のためにもしっかり手続しましょう。ネットでできます。
		金融機関の住所変更	ネットバンキングを登録されていれば、ネットで手続ができますので簡単です。
		クレジットカードの住所変更	ネットでできる方はネットで。電話の場合はクレジットカードに記載のサービスセンターへ連絡しましょう。
		携帯電話の住所変更	各キャリアのウェブサービスで変更が可能です。
		サブスク（ネット系）の住所変更	ネット系で住所登録されているものがあれば、忘れずに行いましょう。
		本格的な荷造り	日用品や1週間で着る服以外は梱包をしまいましょう。
前日		パソコンのバックアップ	手持ちでなければデータ破損の恐れを回避するために行います。
		掃除できる所を掃除する	当日は掃除ができませんので、できるところを掃除します。
		ゴミ捨て	前日と言わず、賃貸の規定にしたがって処分しましょう。
		冷蔵庫の水抜き	引越し日までに食材を処分し、説明書にしたがって水抜きをします。
		洗濯機の水抜き	洗濯物は早めに洗濯してしまい、説明書にしたがって水抜きをします。
		貴重品の荷造り（バッグの用意）	紛失する可能性もあるので、責任を持ってなるべく自分で持ちましょう。
当日		荷物の最終梱包・忘れ物チェック	最後にチェックをしましょう。
		引越し料金の支払い	引越し前と引越し後と業者によって支払うタイミングが違います。お心づけはあったほうが良いです。
		ガスを使用停止の立ち会い	ガスを利用されていれば賃貸によっては立ち会いが必要な場合があります。
		電気のブレーカーを落とす	新居へ移動する前に忘れずにブレーカーを落としましょう。
		新居への移動	電車が近ければタクシーを使いましょう。
		新居の写真・引越し後の部屋チェック	荷物の積み入れでキズが付く可能性があるため、エビデンスのため写真は撮るだけ撮りましょう。
		業者への指示	荷解きのしやすさも鑑みて、業者への指示出しをしましょう。
		荷解き、整理整頓	当日生活できるだけの荷解きはしましょう。
		電気・ガス・水道の使用確認	夕方に引越しをされる場合は、電気などがつかないと生活に支障がでますので、確認はしっかりしましょう。
		近所（隣人）への挨拶	快適な生活を送るためにもせめて隣にだけは挨拶をしておきましょう。
2週間以内		退去時の掃除	鍵の返却のタイミングで、少し早めに旧居へ行き掃除をしましょう。
		鍵の返却	管理会社（大家さん）へ鍵の返却と部屋のチェックを一緒にすることになります。
		転入届	2週間という期限がありますので、忘れずに行いましょう。
		運転免許証の住所変更	規定はないですが、なるべく速やかに警察署へ行きましょう。
		自転車の防犯登録変更	規定はないですが、盗難された時なども鑑みて行きましょう。
		パスポートの住所変更	住所変更は重要ではないですが、時間ができたら変更しておきましょう。
2週間以降		ネットサービスの住所変更	DMなどが届く可能性もあるので、個人情報保護のためにも変更はしましょう。